



## 「食品の容器包装・器具 ～我々は知らぬところで守られている～」

各グループから  
ホットな話題を  
毎号シリーズで  
お届けします！

口にするものの安全安心を強く求める時代。何かと悪にされる食品添加物や農薬はかなり厳格な安全性試験と審査があり、さらに実際の摂食量も測定して健康への影響量より遙かに少ないことを確認し続けていることは関心のある方はよくご存じと思います(保存料に比べカビ毒の圧倒的な怖さを侮るなかれ)。実は他にも、食品が触れる器具や容器包装にも細かな規制がされています。ガラスや陶磁器、ホウロウ、ゴム、金属、プラスチック製品などについて、カドミウムや鉛など有毒金属、ホルムアルデヒドなど化学物質、蒸発残留物という溶け出す成分、いわゆる環境ホルモンのビスフェノールAなどが素材と用途にあわせ規制されます。ほ乳器具はより厳しく、乳製品やレトルトなどは個別に規制されます。さて、容器包装の最近の話題は「再生品の基準」。今はリサイクルが当たり前の素晴らしい時代ですが、一方で異物混入や化学物質汚染の心配もありました。そこで以前からの再生品に加え、再生プラスチックや古紙も安心して使えるよう多岐にわたる規格が設定されました。決して目立ちませんが、市民の暮らしと健康を守る努力が陰ながら続いているです。

科学グループ 熊本隆之(薬剤師／博士[薬学])

## 「地上のNorthern Lights」



オレンジのコロナをまとった黒い太陽、そのコロナに浮かび上がる氷の大地、そして天空を駆けるオーロラ、そんな奇跡のような光景に出会えたら…。

2年越しの思いが今、目の前に始まろうとしていました。北緯78度ノルウェーの北に浮かぶスピッツベルゲン島は人が住む最北限の島です。北極圏の太陽は低く平行に移動しています。見慣れた太陽がまったく別のものに変わる瞬間、白銀の大地をブレイクしたオーロラの磁力線のように、揺らぐものが目に飛び込んできました。太陽の方向からシャドーバンドが走っているのです。今までの概念を覆すような光景でした。

本物のオーロラとの共演はかないませんでしたが、それにも勝る夢のような世界を体験することができました。

※シャドーバンドとは太陽が月に完全に隠される皆既日食のとき、直前に現れる縞模様の揺らめき。

天文グループ 齋藤正一

## 「思い出と楽しみ」



昭和一桁生まれの私は、デジタル社会に完全に乗り遅れました。パソコン、携帯、スマホなどとは一切無関係です。皆さんが楽しそうに画面を見たり、ボタンを押したりしているのを見ると少しは嬉しい気はします。新しい事が出来ないのなら逆に古い事に興味を持てば…。そして現在、漢字にハマっています。

今は結構漢字ブームらしく、漢字ゲームの雑誌等も数多く出版されているので、それを解くのを楽しんでいます。また、一生のうちに使いそうもない難読字や漢字検定にしか現れないような奇想天外な当て字を見つけて喜んでいます。

例えば向日葵(ひまわり)、不如帰(ほととぎす)などは易しい方で、鹿尾菜(ひじき)となるとかなり難解です。

また、ダイハツという会社は大日本発動機、ティチクは帝国蓄音機、東芝は東京芝浦電気が前身だそうです。

案内グループ 橋本 隆

## S.P.V活動情報

～9月

ほかに公民館など市内出張活動を予定

案 内

科 学

天 文

### “昔懐かし”紙芝居(約15分)

●随時実演 ☆展望ロビー(北)

### ジオラマショー案内(約20分)

●11:00～、15:00～、17:00～  
☆展望ロビー(東)

### かんたん科学工作ほか

●土日祝 10:00～15:30

☆21階展示ゾーン入館者対象

### 駅前観望会

●6/27(土) 19:30～20:30

☆郡山駅西口駅前広場

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第46号9月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報を  
HPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編 集  
あとがき

科学グループ(山) ふくしまデステイションキャンペーンもいよいよ終盤☆これを機に来館された方々がまた遊びに来て下さいるように☆  
案内グループ(古) 今年のNゲージは新幹線のオンパレード♪次は何にしようかな?  
天文グループ(鹿) 天文と歌謡曲、いろいろあるけど極めつけは、さだまさしの「天文学者になればよかった」かな?...  
案内グループ(菅) 今年も新規会員募集の時期となりました。新しい仲間がたくさん増えますように...



●スペースパークボランティアの会●

# S.P.Vつうしん

**第45号 2015 JUNE**

発行／スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 TEL 024-936-0201 FAX 024-936-0089

## 開成山こどもまつり 出張活動 報告

2015年5月5日(火・祝)

開成山野球場



### グライダー工作

私たちが開成山野球場会議室に出展した今回のこどもまつりは晴天に恵まれ盛況でした。今回の工作は私も初挑戦の“ダブルリングライダー”でした。PPバンド(プラスチック製の結束バンド)で大小2つのリングと羽根を作り、ストローに取り付ける簡単な構造です。応援の女子高生が10名ほど参加したことで会場は更に明るくなり、訪れた親子連れも楽しんで下さいました。

子ども達はバンドを丸くしてセロハンテープで止めるのに苦労していましたが、高校生や科学グループスタッフに優しく指導を受けながら完成させていきます。飛ばしてみると、上手く飛ぶ子／飛ばない子様々でしたが、上手く行かず駄々をこねる子に對して一緒に來ていたおじいちゃんが「こうしてやるんだよ」とやってみせて飛ばせるようになり、楽しそうに満足げに帰っていました。

今回もそうですが、子ども達が初めての工作に挑み、自分自身で作り上げる喜びと感動を得て行く姿を見るにつけて、ボランティアをやっていて良かったなあと自己満足をしています。

科学グループ 五島邦夫・ナヲ子

### ミューカルがくと館



### 太陽観察

今年のこどもまつりは大変天候に恵まれました! 望遠鏡を使った太陽観察では、「太陽を目で見ていいのか」「眩しくないのか」という質問がたくさんありました。直接太陽を見ることは危険ですが、望遠鏡に特別なフィルターや投影板を付けることにより、コロナや黒点などを観察することができました。初めて望遠鏡で太陽観察をする方が多く、太陽の明るさや黒点にみなさん驚いていました。

風船ロケット作りでは高校生ボランティアの手伝いもあり、子ども一人一人丁寧に作り方を説明し、一緒に飛ばしました。最初は上手に飛ばなくとも、だんだん的に当たられるようになり、子ども達も喜んで飛ばしていました。

ご来場の皆様、ありがとうございました!

天文グループ 相田青空海

## スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。応募条件有り。  
詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

**TEL 024-936-0201**

# ボランティアまつり開催!



3月7日8日の二日間行われたボランティアまつりでは、各グループ工夫を凝らしていました。小さい子どもさんから大人の方まで様々な方がお越しくださって、楽しんでいただきました。私たち案内グループでは昔遊び体験を用意し、あやとり、けん玉、輪投げなどに加え昔懐かし紙芝居も登場し、最近では、皿回しと魚つりが人気を集めています。

さて、「昔遊び」と聞いて皆さんは何の遊びを思い浮かべますか?私は2年前のボランティアまつりで初めて皿回しをしましたが、難しくてなかなかできず苦労した思い出があります。しかし練習を重ねて、今では「皿回しの先生」とも呼ばれ人に教えられるようになりました。来場者の中には初めてやる人も多かったのですが、少し回し方を教えて「出来た!」と喜ぶ人もいる一方、なかなか出来なくて悔しがる姿も見られました。私は今4つに挑戦中です。出来れば良いです…。会場では、両手いっぺんにくるくる回してすぐにできる子もいたのでびっくりです!!

今も昔も変わらず人との触れ合いは大切なことだと感じました。私にとって良い日になりました。これからも人との触れ合いを大切にしたいと思いました。

古川聖奈



今年のボランティアまつりでは、“バランストンボ”的展示と工作、人気ゲームキャラクター“ジバニヤン”的折り紙教室を行いました。

“バランストンボ”ですが、原理としては“やじろべえ”と同じものです。違いとしては、やじろべえが左右のバランスだけ求められるのに対し、バランストンボはそれに加えて前後バランスも重要になります。これにより重心の位置が非常に分かりにくくなり、上手く立たせることができた瞬には「不思議な感覚」を味わうことができます。

当日は工作に参加していただいた子ども達を中心にこの不思議な感覚を体験してもらい、また自身としては「考えることの面白さを感じてもらえば」という思いで活動していました。

来場の方々からたくさんの笑顔をいただき盛況のうちに終われたことは、今後の活動において大きな活力になると感じました。

渡辺大介



例年のように星景写真や隕石の展示、はやぶさ2パネル前で記念写真撮影&プリント、星座早見盤作り等するなか、私は似顔絵コーナーを担当しました。

おすまし顔のちびっ子に「笑って見せて」と言うと恥ずかしそうにニコッとするのでその瞬間を捉えて描くように努めました。変顔見せて笑わせてくれた男の子も元気な顔に描けたと思います。

「好きな物はなに?」と尋ねると“縄跳び”“うさぎ”“コスモス”…と様々教えてくれるので似顔絵に組み入れ描きましたが、“妖怪ウォッチ”“○系電車”等はどう描こうか困っていたらボランティア仲間がスマホで検索してくれたり鉄道コーナーから見本を借りてきてくださったりして助けられました。

似顔絵希望の方を待たせないよう早描きで顔を描き、背景は主に土星や流れ星やお名前をペンで描き入れ隣の千崎さんへ渡しますと彼女も手早く素敵に色付けていきます。最後に藍色で宙全体を筆で塗るとパーンと星が浮き出てきて出来上がりとなるわけです。

こうした連携により2日間で58人を描きました。喜ぶ顔に沢山出逢えて楽しいボランティアまつりでした。

木村芳子



## Nゲージコーナー

今年の鉄道模型操作体験に自宅から持ってきた新幹線用のレイアウトを披露しました。

早速持込みの方々が次々と新幹線を走らせて楽しんでおりました。E4系、E5系、E6系、E7系、700系、N700系など数々の車両が自分のレイアウトを走行するのを見ると、楽しさが2倍も増えました。

普段家ではあまり大きくレイアウトを広げられることが出来ず、しかも後片付けが大変なのでやっていないのですが、年に1~2回のお楽しみということもあって、思いっきりレイアウトを広げました。

来年以降も色々な人に見て喜ばせようと思うレイアウトを考案中ですが、大きければ大きい程やはり後片付けが面倒くさくなりそうです…。

古田高廣



## 大活躍!! / 学生ボランティアさん

郡山っ子にとって、昔から子どもの日の恒例イベントとなる開成山こどもまつりですが、近年では“青少年が社会参加活動を行える場を提供する”目的もあり、多数の学生さんが運営補助に入



って大会を支えて下っています。今回も約400名の高校生が各コーナーに分散し、子ども達が楽しい一日を過ごせるよう奮闘する姿が園内各所で見受けられました。

今回科学グループが出演した野球場内の『わくわく科学工作』コーナーには、女子大付属高校から10名がボランティアに加わりました。ボランティアは子ども達に協力して一機のグライダーを作り上げ、うまく飛んだら一緒に喜び、イマイチだったら一緒に原因を考えます。彼女たちは工作も上手にこなして下さりましたが、何より子ども達との接し方が上手で、心にスッと入っていくような言い回しや振舞いなど、私達が見習うべき面も沢山ありました。

ここで出逢った学生の皆さんと、またどこかで活動を共にしたいですね。

科学グループ 山田善貴

## 今号の きら星さん

私は、宇宙や地球のことに対する興味を持ち科学雑誌を読んだり、鉱物採取をしたり、流星を眺めたりすることが好きでした。数年前、テレビの天文科学の番組で星の写真の特集を見て、自分も綺麗な写真を撮ってみたいと思うようになりました。星の写真を撮るのには、星や星座のことをよく知らない自分なりに勉強していたとき、「星空案内人」の講座を知り受講しました。講義を受けているうちにS.P.V.のことを知り、参加することを決めました。

ボランティアに参加して得たことは、諸先輩たちの知識や経験を学べること、人に教えるためにもっと勉強しなければならないという意識、そして何よりも自分も一緒に楽しめると言うことです。大きな望遠鏡で星を見ているとワクワクします。このワクワク感を多くの子供たちに味わってもらえるように楽しく長く続けていきたいと思います。

天文グループ 鹿岡国俊

